



平成 26 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 大日本スクリーン製造株式会社
代 表 者 名 取締役社長 垣内 永次
(コード番号7735 東証 第1部)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長 上志 正博
TEL (075) 414 - 7192

中期 3 カ年経営計画「Challenge2016」策定に関するお知らせ

当社は、このたび、2015 年 3 月期を初年度とする中期 3 カ年経営計画「Challenge2016」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期 3 カ年経営計画「Challenge2016」策定の背景

当社グループは、2012 年 3 月期～2014 年 3 月期の 3 カ年におきまして「安定した収益構造の確立と新たな成長への基盤づくり」を基本方針とした中期 3 カ年経営計画「NextStage70」に取り組んでまいりました。その 2 年目に当たる 2013 年 3 月期に、主力の半導体機器事業や FPD 機器事業におきまして、デバイスメーカーの設備投資抑制により業績が大幅に悪化しました。その後、収益構造改革に取り組み、最終年度には業績回復を果たすことができましたが、安定した収益構造の確立につきましては課題が残る結果となりました。また、新たな成長に向けた基盤づくりへの取り組みにつきましては、社内組織体制の整備や、新規領域におけるマーケティングや技術開発を進め、新製品を上市するなど、一定の成果を挙げることができました。

このような状況を鑑み、新中期 3 カ年経営計画「Challenge2016」(2015 年 3 月期～2017 年 3 月期)につきましては、前中期 3 カ年経営計画で課題となっていた収益構造改革を完遂させ、さらなる高収益体質への転換と、新規事業領域での黒字化に Challenge してまいります。

2. 目標

①収益構造改革を完遂し、高収益体質へ

最終年度において営業利益率 10%以上

②新規領域での事業化

それぞれの新規事業領域において最終単年度での黒字化

- ・エネルギー分野
- ・検査計測分野
- ・ライフサイエンス分野
- ・プリンテッドエレクトロニクス分野

③財務体質の強化

最終年度末において自己資本比率 50%以上

3. 基本方針

①持株会社体制による収益力の強化

持株会社体制による執行スピードアップと独立採算の強化徹底

②高収益事業ポートフォリオの構築

コアコンピタンスの活用とオープンイノベーション戦略の実施により高収益事業ポートフォリオの構築

③バランスシート経営の推進

財務体質の強化に向けバランスシートにより軸足をおいた経営の推進

④CSR 経営の推進

グループにおける CSR 意識の醸成と事業を通じた社会貢献

*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上